

# 東京と小説を考える

東京小説家・山崎修平氏を囲んで

講演

山崎修平  
(詩人、小説家)

コメン  
テーター

山道拓人

岡村民夫

法政大学江戸東京研究センター研究員  
法政大学国際文化学部教授  
(表象文化論)

法政大学江戸東京研究センター研究員  
法政大学デザイン工学部准教授  
(建築家)

縦横無尽に東京各所が登場する詩集『ダンスする食う寝る』（思潮社、2020年、歷程新鋭賞）、小説『テーゲベックのきれいな香り』（河出書房新社、2022年）、『愛がすべて』（『新潮』2023年5月号）を書き、近年、先鋭で目覚ましい創作活動をする一方、法政大学大学院人文科学研究科で西脇順三郎を研究している山崎修平氏（1984年、東京都生まれ）を招き、自身の東京小説について語ってまいります。あわせて、東京へのスタンスや、東京を舞台にする意義、他の東京小説ないし都市文学との関係などについて議論します。

日時

2023年12月16日(土)  
14時～16時

会場

法政大学市ヶ谷キャンパス  
大内山校舎Y505

参加費無料

事前申込不要/対面開催のみ  
(オンライン配信は行いません)

キャンパスマップは  
QRコードからアクセスできます

